

海外事情 3月19日号

- 出張者の決済手段が多様化
- グーグル、航空便検索が利用増
- EY、旅行販売で音声 AI 活用
- ブロックチェーン応用を指南(アマデウス)
- ブッキング、売上総利益 2 割増

以上は、トラベルジャーナル 3月19日号をご覧ください。

➤ Routehappy の 2 番目 GDS 契約

Amadeus が Routehappy と契約し、既存の旅行会社用プラットフォーム経由でアメニティー・機内サービス・座席条件などの航空情報を提供することとなった。これには Amadeus Selling Platform Connect と Amadeus Web Services ツール経由 OTA への情報提供も含まれる。後者は、Routehappy が最初の請求者となるエアラインコンテンツの再流通契約が必要となる。これは、16 年 9 月の Sabre の旅行会社向け Sabre Red プラットフォーム経由のエアラインコンテンツ提供契約に次ぐ 2 番目の GDS 契約となる。Travelport は、同社の Merchandising Platform の一部である Rich Content and Branding ツールによる自社開発を優先させている。Amadeus は、Routehappy との契約により写真・ビデオ・商品説明の詳細提供が可能になり、航空会社にとっては予約コンバージョン向上と差別化を促進できるようになる。同時に、旅行会社にとっては総合的サービスを顧客に提供できるようになると語っている。Routehappy は 2 月はじめに ATPCO が買収したばかり。(PhocusWire 2/12 <https://goo.gl/tXhRkr>)

➤ Sabre17 年決算最高収益

Sabre が、17 年決算で 6.7%増収させて最高収益 35 億ドルを達成した。調整 EBITDA は 3.1%増益の 11 億ドルであった。増収率および増益率はどちらも 14 年の再上場以来最低の率となった。18 年見通しでも一桁の増率が予想されている。エアライン・ソリューション収入は 2.7%増の 8.16 億ドル、ホスピタリティー部門収入は 15%増の 2.584 億ドルであった。世界予約シェアは 36.3%で前年の 37.1%より低下した。搭乗旅客数は Southwest 航空の Sabre 離脱により 2.2%減少した。WN 除きでは 9.1%増加した。決算発表と同時期に、IATA BDC Level 3 を獲得した。

ライバル企業の Amadeus は、48.3 億ドルで 16 年の 44.8 億ドル比 8.5%の増収となった。EBITDA は 9.7%増益の 18.7 億ドルであった。搭乗旅客数は 19.8%増の 16.6 億人となった。流通予約シェアは 43.9%。18 年中には、NDC 接続アグgregator としての Level 3 を取得する。既に IT サービスの Level 3 は取得済みである。(PhocusWire 2/14 <https://goo.gl/24vdZJ>, 2/28 <https://goo.gl/qS57Sb>)

➤ Zoomcar 4 千万ドル資金調達

自動車メーカー Mahindra & Mahindra (印) が、オンデマンドレンタカーサービス Zoomcar (印) のシリーズ C の 4,000 万ドル資金調達をリードする。M&M 出資比率は 16%となる。創立 5 年の Zoomcar には、Ford Motor Company も投資、累計資金調達額は 1 億ドルを超えた。調達した資金は、特にインド共有モビリティ市場における電動自動車レンタルに向けられる。(PhocusWire, 2/19 <https://goo.gl/yqPEhC>)

➤ ブロックチェーン航空便管理

航空便データの完全な同期は困難だ。情報が異なるデータベースに格納されているからだ。航空旅客のモバイル画面のフライト情報と、空港の大画面のスクリーン情報と、航空会社の空港職員が見ている情報が異なる場合が存在する。単一情報の共有ができていないのだ。SITA は LHR 空港、GVA 空港、MIA 空港、IAG 航空会社と共同で、ブロックチェーンの分散型台帳とスマートコントラクト技術を使った単一情報の、フライト情報管理システムを開発する FlightChain と呼ばれるプロジェクトを立ち上げた。

分散型台帳のブロックチェーンは、誰でも全てのトランザクションにアクセス出来て、それらは暗号技術によって格納されて改竄することができない。おそらくブロックチェーンの最も重要な特徴は、一つのある組織 (unit) が管理するのではなくて、スマートコントラクトによってこのシステムが自動化されていることだ。FlightChain プロジェクトでは、Ethereum と Hyperledger Fabric による 2 つのプライベート・ブロックチェーンが試験されている。

将来は、IATA と ACI (Airport Council International) が共同して、業界標準をスマートコントラクトに読み込んだブロックチェーンによる業界規則の展開も考えられる。航空機整備記録、貨物や旅客のマニフェストの格納にも応用できるだろう。(PhocusWire, 2/19 <https://goo.gl/2Ddcha>)

▶ Webjet のブロックチェーン

豪州と NZ の大手 OTA である Webjet が、同社のブロックチェーン イニシャティブである Rezchain を Thomas Cook, Digital Travel, Mitra Global, Far East Hospitality 4 社に拡大展開する。Rezchain は、2016 年初頭に Webjet と Microsoft が開発した、ホテル業界初 (Webjet) のブロックチェーン利用プラットフォーム。以来 Webjet の社内 B2B 事業 WebBeds に使用して来た。このブロックチェーンを利用したプラットフォームは、ホテル流通の効率化とコスト削減を可能にする。Webjet によれば、ホテル予約の 3%~5% の取引で、代金請求に対して何らかの問題 (異議 = “不一致”) が発生し、その解決に数ヶ月が費やされている。Rezchain は、ブロックチェーンによるデータ共有化とスマートコントラクトによるデータ照合を通じて、予約時点で即修正できるようにするために “不一致” の存在をリアルタイムで指摘し、事後の紛争解決の為の無用なコストをなくす。例えば、一方が予約取消したと見え、他方が予約が生きていると考えている “不一致” を指摘してくれる。売掛金勘定と買掛金勘定の増加をかなり抑制した事業の拡大が可能になる。今の所、Webjet はブロックチェーン-アズ-ア-サービスとして他社に展開し、この新しいテクノロジーへの迅速かつ容易な適合を可能にする。Rezchain では、参加企業はテクノロジーの導入を必要とせず、データ照合のための単純な毎日のデータのファイルだけが必要となる。(PhocusWire 2/20 <https://goo.gl/RrWSpR>)

▶ RV シェア 5 千万ドル調達

P2P リクリエーショナル自動車 (RV) レンタルプラットフォームの RVshare (2013 年創立) が、初の資金調達で Tritium Partners から 5,000 万ドルを調達した。市場開発の促進に充当する。RVshare は、トラベル・トレイラーから豪華モーターホームまでのオプションを備えた 60,000 台の RV を提供している。投資家の Tritium Partners のマネジングパートナー 2 人は、レンタルバケーションの HomeAway の最初の資金調達をリードした経験を有し、今度は運輸と宿泊のハイブリッドモデルの RVshare 投資で、HomeAway 投資成功の再現を目論む。この資金は、ライバル企業の Outdoorsy が 2,500 万ドルの資金調達した 1 週間後に実施されている。米国では、1,500 万台の RV が 50 週間非稼働になっており、所有者の 66% が彼らの RV をレンタルしたがつている。(PhocusWire 2/20 <https://goo.gl/3JqS88>)

▶ Traxo の法人旅行データ管理

旅行インテリジェンスと旅行データのアグREGーション技術の Traxo (ダラス本社) が、会社が承認していないチャネルの旅行データを、注意義務 (duty of care = 出張先居場所確認など) ・ エクスペンス ・ 価格確認 ・ 提携法人管理旅行会社と統合させる新たなプロダクト Traxo Marketplace を開発した。主張規定を遵守しない出張者の旅行データ把握が可能になる。(PhocusWire 2/20 <https://goo.gl/qCAyNX>)

▶ ミレニアルとブレイジャー

以下は、Travelport の 19 ヶ国の 11,000 人の旅行者を調査した結果である。ミレニアル世代の出張旅行の興味深い実態が明らかにされている。

- 英国の 44% のミレニアル世代の出張旅行者は、旅行中に彼らのデジタルデバイスで予約情報にアクセスできないことに大きな不満を抱えている。この不満は、Gen X 世代では 32%、ベイビーブーマーでは 18% に減少する。
- 38% が、旅行履歴に基づくパーソナルな旅行提案が無いことに不満。ベイビーブーマーでは 12%。
- 42% の英国ミレニアル出張者は、予約プロセスの段階で人間のコンサルタントのアドバイスを得られないことに不満を感じている。多くが、人間とデジタルのインタラクションを併せ持ったソリューションを希望。
- 62% が、出張に習慣的に数日間延長してローカルのアトラクションを見物。米ブーマーでは 27% しかブレイジャーしない。
- その結果、英国ミレニアルは、出張と休暇旅行の両方の目的達成のために自身の旅行検索方法にこだわる。これは、出張旅行予約のテクノロジーのタイプをシフトさせつつある。
- 旅程の詳細を決定するために、88% が旅行レビューサイトを、84% が一般旅行アドバイスサイトを頼っている。
- 82% が、最終決定するためにソーシャルメディアで友人の旅行ビデオや写真を見る。
- 56% が、旅行計画プロセスを通じて音声テクノロジーを利用。Gen X では 38%、ベイビーブーマーでは 18% しか使わない。
- 自分で予約しなければならない時には、51% が、旅行手配を最終化するためにデスクトップ或いはラップトップを使用、42% が法人予約ツールを使用。

- ・ しかしながら、ミレニアル出張者の 27%が自分のスマホで、23%がタブレットを利用。Gen X ではスマホ 11%、タブレット 12%となる。ベイビーブーマーでは、どちらも 6%。
- ・ 特にアプリの利用が進んでいる。英国ミレニアル出張者は、ベイビーブーマー（10 種類）のほぼ倍の 18 種類の異なるアプリを使用。
- ・ 87%の英国ミレニアル旅行者が、ソーシャルメディアアプリを使用。
- ・ 86%が、天気、金融、インスタントメッセージングアプリを使用。
- ・ 81%が、Uber のような地上輸送アプリを使用。
- ・ 78%が、旅行レビューと翻訳アプリを使用・

企業は、優秀な若者を採用するために、ブレイジャーの出張を許可するなど柔軟性にとんだ勤務環境を作る必要がある。テクノロジープロバイダーは、レジャーと出張旅行の両方の予約に対応するソリューションの開発が求められている。(TN 2/21 <https://goo.gl/EJFjpf>)

➤ TUI とブロックチェーン

TUI Group は、1,600 の旅行会社とオンラインポータル、300 以上のホテル、クルーズライン 5 社、航空会社 5 社、115 目的地で、トランスファー・エクスカーション・ツアーサービスのポートフォリオを抱える。以下は TUI Group のブロックチェーン プロジェクト長との Tnooz の面談情報の抜粋。

- ・ TUI のブロックチェーン技術の試験は 2016 年秋に開始。
- ・ 社内で、客室在庫アロッドメントのワンソースマーケットから異なるソースマーケットへの移管に関する客室在庫管理に、プライベート・ブロックチェーンを応用している。
- ・ ブロックチェーンは、スマートコントラクトの能力を有する Ethereum を使っている。
- ・ 今までの所、この単一信頼データ (single source of truth) のブロックチェーンの社内試験的運用は大きな成果を挙げている。
- ・ この社内運用のプライベート・ブロックチェーンの経験を踏まえて、今後、目的地のサプライヤーとの契約などにパブリック・ブロックチェーンを応用したい。
- ・ 目的地のツアー&アクティビティ市場では、契約能力が低く信頼性確認が必要な規模の小さいサプライヤーひしめいている。彼らとの契約には、ブ

フォーカスライト Japan

ックチェーン技術がまさに適している。

(PhocusWire 2/21 <https://goo.gl/WjNssP>)

➤ Uber Express Pool

Uber が、新たなオプション Uber Express Pool を 6 都市に追加展開した。展開都市の合計は米国内 8 都市になる。これは、Uber Pool のサービスを少し変化させたサービスだ。乗車ポイントと降車ポイントを door-to-door のポイントから少し離れた決められた場所に移動し、発車時間も少し待たせることにすることで、今までの Uber Pool の料金からおおよそ 30%値引きする。8 都市は、サンフランシスコ、ボストン、デンバー、ワシントン DC、ロス、マイアミ、フィラデルフィア、サンディエゴ。Uber Pool は 14 年に開始、現在までに 10 億人近くを輸送している。(PhocusWire 2/21 <https://goo.gl/JbXUrc>)

➤ Airbnb 28 年迄にゲスト 10 億人

Airbnb が、創立 10 周年を迎えた。過去 10 年間で 1 億人のゲストを記録した。10 年後の 28 年までに年間 10 億人のゲストを迎え入れる野心的計画 Roadmap を発表した。Airbnb の中核事業の Home に新たな 4 つの施設タイプ Vacation, Unique, B6B, Boutique を加える。そして Airbnb Plus と Beyond by Airbnb の新しい区分を作る。スーパーホスト制度を強化する一方で、“スーパーゲスト”制度と、スーパーゲスト会員に対する褒賞制度を開発する。Airbnb Collections は、Airbnb for Family, Airbnb for Work に加え、Social stays for weddings, honeymoons, group getaways, diner parties に幅広く拡大する。(PhocusWire 2/22 <https://goo.gl/mYZefk>)

➤ KKday 1,050 万ドル調達

台湾のオンライン旅行体験プラットフォーム KKday が、日本の HIS がリードした資金ラウンドで 1,050 万ドルを調達した。既存投資家の MindWorks Venture もこのラウンドにも参加した。KKday はアジアの大手旅行体験プラットフォームの 1 社で、80 ヶ国 500 都市に 1 万件以上のユニークな旅行体験を取り揃え、400 万位上の UV を抱えている。Phocuswright は、目的地のツアー&アクティビティの世界市場規模は、16 年で 1,350 億ドル、20 年には 1,830 億ドルに増加すると予測している。HIS は世界の 130 以上の都市にオフィスを展開しパッケージと

団体旅行やその他のアクティビティをオーガナイズしている。(TN 2/23 <https://goo.gl/r9v1fY>)

➤ Airbnb Experiences ライブイベント

Airbnb の Experiences がライブコンサートにまで拡大する。この新たなプロダクトは、特に新設した「スーパーゲスト」プログラムと関連する。上顧客の「スーパーゲスト」に対して人気コンサートの早期予約特権を提供に加え、場合によっては Airbnb が事前に確保したブロック席の優先販売を実施する。これは、American Express のカード会員に対するライブコンサート優先予約特権提供手法と似通っている。コンサートに止まらず、コメディや劇場の予約サービスも提供する。そして、これらのプロダクトを単に Airbnb で再販するのではなく、Airbnb だけのためのイベントにする考えだ。Airbnb Experiences は、ファンと交流できる信頼おけるチャンネルを探しているクリエイティブたちにとって恩恵となるだろう。Airbnb は、19 年には Experiences の黒字化を計画している。(TN 2/23 <https://goo.gl/K9hRYZ>)

➤ 空飛ぶタクシー試験飛行開始

電動自動空飛ぶタクシー Vahana AlphaOne が初飛行した。Vahana プロジェクトは、航空機メーカー Airbus のシリコンバレー A3 のエンジニアの発明である。Airbus は、空飛ぶタクシーの機体製造に加え、主要テクノロジーを探求し、耐空証明と自動操縦航空機運航の行政領域を進化させ、将来の垂直都市実現を支援するエコシステムを育成すると言っている。AlphaOne 初飛行については YouTube <https://goo.gl/1tLByg> と <https://goo.gl/EirQqL> 参照。

2月5日、中国の EHANG184 自動航空機の試験飛行シリーズのビデオを公開した。YouTube <https://goo.gl/x8e45u> 参照。

カリフォルニアの Joby Aviation が、全電動垂直離発着機 eVTOL 航空機のプロトタイプの開発前進を発表した。Joby Aviation は、最近の資金調達ラウンドで Intel Capital、トヨタ、JetBlue Technology Venture を含む投資家達から 1 億ドルを調達した。

Bell Helicopter は、CES 展示会で将来のエアータクシー構想を発表した。<https://vimeo.com/249684120> 参照。

Uber は 2020 年までに主要都市で空飛ぶタクシーの試験飛行の開始を計画して

いる。 <https://goo.gl/yfvPsK> 参照。

(TN 2/27 <https://goo.gl/83XdCW>)

➤ Google のチャット

Google が、グループメンバーの間で共同作業（コラボ）を可能にする Hangout Chat を立ち上げた。（hangout 意味＝溜まり場）

チームコミュニケーションツール Slack の競争相手となるだろう。ボットを運用している Kayak を含む 26 社が、このチャットのプラットフォームに参加している。Hangout Chat は、Google の G Suite（Gmail や Google Docs などを含むビジネス用ソフトウェア群）内で使用可能。これを使えば、グループ旅行の参加者たちとの間の、目的地選択や航空便予約の打ち合わせや、共同作業を効率かつ迅速に行えることになる。（PhocusWire 3/01 <https://goo.gl/SeVv38>）

+++++ +++++ +++++